

医療費分析結果報告書（概要）

- 平成27年度 -

【1 被保険者の状況】

○平成27年度の被保険者数（月平均）は415,354人であり、前年度に比べて0.39%減少したが、組合員数はこれまでの減少傾向から反転し1.23%の増加となった。家族数は△1.68%と依然減少が続いている。（1頁表-1）

組合健保は、前年度から被保険者数が+0.57%、被扶養者数が△1.54%である。

○被保険者の年齢階級別割合では、40歳台が21.02%と最も高い。（2頁表-2）

組合健保と比較すると、前年度と同様に45歳以降はすべての年代で全国土木が高くなっている。

○平成27年度の平均年齢は、36.5歳（組合員45.6歳、家族29.2歳）である。（2頁表-3）

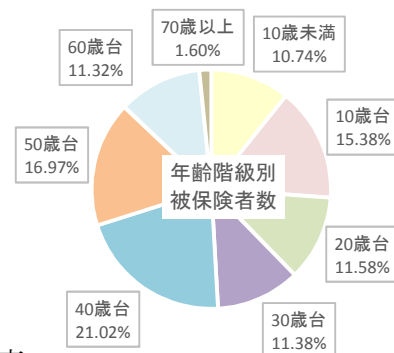
組合健保の平均年齢は34.5歳であり、全国土木が2.0歳高い。

○平成27年度の前期高齢者は22,306人であり、前年度に比べて10.27%増加し、加入率は5.37%となっている。（4頁表-4）

組合健保の加入率は3.12%であり、全国土木が2.25ポイント高い。

○平成27年度の扶養率は1.25人で、前年度に比べて3.10%減少している。（5頁表-5、6）

組合健保の扶養率は0.84人であり、組合健保より扶養率が高くなっている理由は、全国土木は男性組合員の割合が86.4%と高いことに加え、組合員と同一世帯であれば、収入の多寡にかかわらず家族被保険者となることが主要因と推察される。



【2 医療費の状況】

○医療費は約715億円で、前年度に比べて4.86%の増加となり、近年ほぼ横ばいに推移していたが平成27年度は大きく増加した。（6頁表-7）

○診療区分別の医療費では、入院外が全体の約4割を占め、組合員・家族別に見ると、家族（53.14%）が組合員（46.86%）より6.28ポイント高い。（7頁表-8）

○1人当たり医療費は、組合員、家族ともに増加傾向であり、近年は毎年2%前後の伸び率で増加し続けていたが、平成27年度は5.27%の増加で、伸び率が大きく上昇した。（8頁表-9）
組合健保と比較すると、組合員の伸び率が高くなっている。

○1人当たり医療費（診療区分別）については、すべての診療区分において増加傾向にあり、前年度と比較すると次表のとおりである。

調剤を含む入院外1人当たり医療費は105,225円であり、前年度から6,253円（6.32%）増加していることが平成27年度の医療費を大きく増加させた主要因と推察される。

1人当たり医療費

診療区分	平成26年度	平成27年度	増減額	増減率
入院	45,300円	47,336円	2,036円	4.50%
入院外	66,472円	69,566円	3,094円	4.65%
歯科	18,887円	19,170円	283円	1.50%
調剤	32,500円	35,659円	3,159円	9.72%
（入院外+調剤）	98,972円	105,225円	6,253円	6.32%
医療費	163,462円	172,075円	8,613円	5.27%

（9頁表-10）

〃

〃

〃

〃

（8頁表-9）

※医療費には訪問看護療養費を含む。

○年齢階級別1人当たり医療費は、前期高齢者納付金に影響する前期高齢者の医療費が高くなっている。(10頁表-11)

なお、全体の1人当たり医療費では組合健保との差が16,974円(11.59%)あるが、本人割合、男女割合、年齢構成の影響を取り除くとその差は僅か537円(0.37%)となる。

1人当たり医療費			本人割合、男女割合、年齢構成を揃えた1人当たり医療費		
全国土木	組合健保	差	全国土木	組合健保	差
163,462円	146,488円	16,974円	147,025円	146,488円	537円

○ジェネリック医薬品の使用割合は、平成28年3月診療分で65.6%となっている。(29頁図-48)

厚生労働省が策定した目標値である数量シェア70%から4.4ポイント下回っており、組合健保の63.2%からは2.4ポイント上回っている。

【3 疾病の状況】

○平成27年9月診療分の医療費総額(歯科の疾患を除く)でみると、入院では組合員、家族ともに「新生物」が最も多く、入院外では組合員は「内分泌、栄養及び代謝疾患」、家族は「呼吸器系の疾患」が最も多い。(30頁表-28～33頁表-31)

なお、各区分で金額が最も多い年齢階級と疾病分類は次表のとおりである。

区分	入院			入院外		
	年齢階級	疾病分類	金額	年齢階級	疾病分類	金額
組合員	60歳～64歳	新生物	63,326千円	60歳～64歳	内分泌、栄養及び代謝疾患	33,634千円
家族	0歳～4歳	周産期に発生した病態	41,344千円	0歳～4歳	呼吸器系の疾患	70,753千円

○前期高齢者の疾病分類別1人当たり医療費は、入院、入院外とも「循環器系の疾患」(入院：33,924円 入院外：26,727円)が最も高い。(34頁表-32)

なお、組合健保と比較し全国土木との差が大きい上位3疾患は次表のとおりである。

疾病分類	入院			疾病分類	入院外		
	全国土木	組合健保	差		全国土木	組合健保	差
総数	152,950円	137,762円	15,188円	総数	168,837円	145,968円	22,869円
新生物	33,848円	39,902円	△6,054円	消化器系の疾患	21,544円	9,006円	12,538円
内分泌、栄養及び代謝疾患	7,938円	2,931円	5,007円	新生物	11,987円	20,780円	△8,793円
血液及び造血器の疾患等	5,950円	1,177円	4,773円	筋骨格系及び結合組織の疾患	21,662円	15,096円	6,566円

○前期高齢者の入院医療費の疾病分類別新三要素分析をみると新規入院発生率は「新生物」(39.40%)が最も高く、1入院当たり医療費は「血液及び造血器の疾患等」(2,397千円)が最も高い。(35頁図-54)

なお、各要素において、組合健保と比較し全国土木との差が大きい上位3疾患は次表のとおりである。

疾病分類	新規入院発生率			疾病分類	平均在院日数		
	全国土木	組合健保	差		全国土木	組合健保	差
内分泌、栄養及び代謝疾患	10.30%	4.72%	5.58 P	神経系の疾患	28日	41日	△13日
消化器系の疾患	23.30%	19.26%	4.04 P	血液及び造血器の疾患等	35日	23日	12日
神経系の疾患	7.77%	4.22%	3.55 P	呼吸器系の疾患	29日	19日	10日
疾病分類	1日当たり医療費			疾病分類	1入院当たり医療費		
	全国土木	組合健保	差		全国土木	組合健保	差
消化器系の疾患	32,747円	49,785円	△17,038円	血液及び造血器の疾患等	2,397千円	1,491千円	906千円
呼吸器系の疾患	34,163円	41,121円	△6,958円	神経系の疾患	872千円	1,200千円	△328千円
損傷、中毒及びその他の外因の影響	47,781円	41,689円	6,092円	損傷、中毒及びその他の外因の影響	1,354千円	1,061千円	293千円